

令和元年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		令和元年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
環境保全全般	1	環境基本計画の推進	「京都市環境基本計画」の進行管理 環境教育・学習の推進	京都市環境基本計画 京都市環境教育・学習指針	・京都市環境審議会3回、環境基本計画評価検討部会2回開催 ・京都市環境基本計画年次報告書「環境レポート」の公表（令和元年11月） ・環境レポート概要版「京都環境れはーと～平成30年度事業実績～」の発行（令和2年3月）	【今後の重点事項】 計画及び指針に基づく取組の推進	環境総務課
	2	生物多様性保全	生きものの生息環境の保全	京都市環境基本計画 京都市生物多様性プラン ・生きもの・文化豊かな京都を未来へ～	・「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の運用（取組団体数：231団体（令和元年度末）） ・自然観察会の開催（「親子生きもの探偵団」（3回）、「地域生きもの探偵団」（8回）、「自然と出会えるまち歩き」（2回）） ・「京の生きもの生息調査」の実施（報告数：239件）	【今後の重点事項】 ・あらゆる主体による生物多様性保全のための行動の促進とそのための環境整備	環境管理課
			理解し行動する市民の支援				
			活動を促す仕組みとネットワークの構築				
3	京都環境賞	環境の保全に貢献する活動を実践している個人、団体を「京都環境賞」として表彰	京都市環境基本計画	・表彰件数：13件	【今後の重点事項】 計画に基づく取組の推進	環境管理課	
4	生活環境の保全	ダイオキシン類や微小粒子状物質（PM _{2.5} ）等の大気汚染物質や主要河川の水質等の常時監視 公害関係法令に規定する施設を設置する工場・事業場への立入監視・指導	京都市環境基本計画	・ダイオキシン類の常時監視地点数：46地点 ・大気汚染の常時監視局数：17局 ・水質汚濁の常時監視地点数 ①公共用水域：42地点、②地下水：48地点 ・立入調査等件数：3,651件（令和元年度末）	【今後の重点事項】 継続した監視の実施 【今後の重点事項】 継続した立入調査、指導等の実施	環境指導課 環境共生センター	
低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現	5	地球温暖化対策計画の推進	「エコ学区」ステップアップ事業による学習会の開催、省エネ診断の実施等の学区の状況に応じて取り組むことができるプログラムの実施	京都市地球温暖化対策計画<2011-2020> - 気候変動への更なる挑戦～低炭素社会実現に向けた道筋 プロジェクト“0”への道～ ・クルマのかしこい利用を進める - 京都市自動車環境対策計画<2011-2020> 「京都市役所CO ₂ 削減率先実行計画」	・学習会等の実施回数：99件	【エネルギー消費量】 ピーク時（平成9年度）から約28%削減（平成30年度実績） 【再生可能エネルギー導入量】 平成22年度から4.7倍に増加（平成30年度実績（ごみ発電除く）） 【今後の重点事項】 各計画に基づく取組の推進 ・市民・事業者の省エネ・節電の促進に向けた、制度や支援等の推進 ・再生可能エネルギーである太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システム及びHEMS・BEMSの更なる利用促進	地球温暖化対策室 環境管理課
			「DO YOU KYOTO?」推進事業の実施		「DO YOU KYOTO?」関連イベント参加者数：855,651人		
			全市立小学校（163校）における「こどもエコライプチャレンジ推進事業」の実施		実施校数：164校（全市立小学校及び私立小学校1校）		
			事業者排出量削減計画書制度の推進		特定事業者の平成30年度実績報告書の受付、公表（特定事業者の温室効果ガス総排出量約191.5万トン（平成30年度実績））		
			KES認証取得の促進		KES認証：829件保有（令和元年度末）		
			エコドライブ推進事業の実施		登録者数 ①令和元年度新規：21,821人、②累計：229,621人		
			エコカーへの転換の促進		中小貨物運送事業者への天然ガス自動車等購入補助件数：3件		
			市内最大の排出事業者である京都市役所からの温室効果ガス排出量の削減を推進		・京都市役所からの温室効果ガス排出量：平成16年度から24.1%削減（平成30年度実績）		
	気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第49回総会京都市開催記念事業の実施	・パリ協定の推進に不可欠な温室効果ガス排出量算定のためのガイドライン（いわゆる「IPCC京都ガイドライン」）が採択された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第49回総会を支援。IPCC総会に併せて開催した記念シンポジウムにおいて京都市長が、「2050年までにCO ₂ 排出量正味ゼロ」を目指す決意を表明し、「1.5℃を目指す京都アピール」を発表					
	「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式及び「京都環境文化学術フォーラム」の開催	・令和2年2月に開催					
「京都市エネルギー政策推進のための戦略」の推進	「京都市エネルギー政策推進のための戦略」の推進	大規模排出事業者の自主的な排出量削減を図ることを目的とした事業者排出量削減計画書制度の推進	京都市エネルギー政策推進のための戦略 京都市バイオマスGO!GO!プラン - 京都市バイオマス活用推進計画 - <2011-2020>	特定事業者の平成30年度実績報告書の受付、公表（特定事業者の温室効果ガス総排出量約191.5万トン（平成30年度実績））（再掲）	【今後の重点事項】 各計画に基づく取組の推進 ・市民・事業者の省エネ・節電の促進に向けた、制度や支援等の推進 ・再生可能エネルギーである太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システム及びHEMS・BEMSの更なる利用促進	地球温暖化対策室	
		コージェネレーションシステム（熱電併給）の普及拡大によるエネルギーの有効利用の促進		・太陽光発電システムとエネファームの同時申請による助成金増額件数：22件			
		HEMS・BEMSの導入など電力需要の「見える化」による総量抑制とピークカット・ピークシフトの促進		・蓄電システム設置助成件数：233件 ・HEMS設置助成件数：104件 ・工場・事業所向けEMS導入セミナー実施（令和元年5月）			
		「エコ学区」ステップアップ事業による学習会の開催、省エネ診断の実施		・学習会等の実施回数：99件（再掲）			

令和元年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		令和元年度重点取組				
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現	6 「京都市エネルギー政策推進のための戦略」の推進	太陽光発電システム、蓄電システム及び太陽熱利用システムの設置助成	京都市エネルギー政策推進のための戦略 京都市バイオマスGO!GO!プラン - 京都市バイオマス活用推進計画 - <2011-2020>	・太陽光発電システム助成件数：347件 ・蓄電システム助成件数：233件 ・太陽熱利用システム助成件数2件 ・HEMS助成件数：104件 (蓄電システム及びHEMS再掲)	【エネルギー消費量】 ピーク時(平成9年度)から約28%削減(平成30年度実績) 【再生可能エネルギー導入量】 平成22年度から4.7倍に増加(平成30年度実績(ごみ発電除く)) 【今後の重点事項】 各計画に基づく取組の推進 ・市民・事業者の省エネ・節電の促進に向けた、制度や支援等の推進 ・再生可能エネルギーである太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システム及びHEMS・BEMSの更なる利用促進	地球温暖化対策室 施設管理課 施設整備課
		地域が主体となって、太陽光発電や小水力発電など再生可能エネルギーを導入しようとする取組を支援する「再生可能エネルギー導入支援事業」の実施		・支援団体数：5団体		
バイオディーゼル燃料の利用		・バイオディーゼル燃料製造量：57万リットル ・使用車両数 ①パッカー車：167台, ②市バス：108台				
グリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化		地球温暖化対策室+G27:H32				
南部グリーンセンター第二工場におけるバイオガス化施設の稼働		・令和元年10月から稼働開始				
7 水素エネルギーの普及促進	F C Vの普及促進(水素学習と合わせたF C V体験乗車事業、企業等へのモニター制度によるF C V貸出事業の実施)	・スマート水素ス+G27:H32セッションとF C Vを活用した体験型水素学習事業参加者数：延べ383人 ・企業等へのモニター制度によるF C V貸出件数：10件				
必要以上にごみになるものを出不さない循環型社会の構築	8 環境先進都市・京都の更なる進化に向けた2Rと分別・リサイクルの促進	使い捨てプラスチック削減推進事業	新・京都市ごみ半減プラン ・京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)	・マイボトル推奨店舗数：243店舗 ・「京都市プラスチック資源循環アクション〜プラスアクション12〜」の策定(令和元年10月) ・ウォータースタンド株式会社との「マイボトル等で利用できる給水スポットの拡大に関する連携協定」の締結(令和2年1月)	【今後の重点事項】 計画に基づく取組の推進 ・食品ロス、紙ごみ、使い捨てプラスチック削減に係る取組等の一層の推進	ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 生活環境美化センター 環境共生センター
		食品ロス削減推進事業		・「食べ残しゼロ推進店舗認定制度」認定店舗数 ①飲食店・宿泊施設版：1,069店舗, ②小売店版：501店舗 ・食品スーパー・百貨店で販売期限延長の取組を実施(47事業者235店舗) ・食品ロス削減月間(10月)における啓発 市民しんぶん区版(令和元年10月15日号)挟み込み、 市政広報版、市バス・地下鉄広告ポスター等 ・フードバンク活動等に取り組む団体に対する助成(3件) ・地域学習会「しまつのこころ乗考(がっこう)」開催回数：247回 ・「エコ修学旅行」参加校数：264校, エコバッグ配布数：20,534枚, 「エコ・アクション+1」応募校数46校(優秀校5校) ・NOレジ袋&食品ロスゼロキャンペーン実施回数：30回 ・ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」リニューアル		
		事業者報告制度の運用		・事業者報告制度：提出事業者数513件(提出率100%)		
		市民モニター制度の運用		・市民モニター数：38人 ・事業所等訪問件数：17件		
		イベント等のエコ化の推進		・京都市認定エコイベント件数：140件 ・リユース食器利用促進助成件数：57件 ・分別リユースごみ箱貸出件数：107件		
		紙ごみ削減推進事業		・マンション等の共同住宅で新たに古紙類の回収を実施(455棟) ・「大学生・ごみ減量サポーター事業」学生サポーター数：6大学22人		
		小型家電リサイクル資源の活用		・市民が排出した使用済小型家電から回収した「金」を100%使用した「京都マラソン2020の優勝メダル」の制作、優勝者への授与		
		地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の取組の推進		・生ごみ・落ち葉等堆肥化活動団体助成件数：13件		
		地域単位で古紙類、古着類、缶・びん類等の資源物を回収するコミュニティ回収の拡大・支援		・コミュニティ回収等の集団回収実施団体数：3,055団体(令和元年度末)		
		バイオディーゼル燃料として活用する使用済てんぶら油の回収量の拡大		・回収拠点数：1,694拠点(令和元年度末) ・回収量：166,970リットル		
		せん定枝の分別・リサイクル推進事業の実施		・せん定枝の分別・リサイクル推進事業のモデル実施		
		移動式拠点回収事業の積極的な推進		・移動式拠点回収事業の実施：327回		

令和元年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		令和元年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
必要以上にゴミになるものを出さない循環型社会の構築	9 クリーンセンターの建替え及び大規模改修等による適正なごみ処理の推進、クリーンセンターからの環境学習の発信	南部クリーンセンター第二工場の稼働	新・京都市ごみ半減プラン ・京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）	・令和元年10月から稼働開始	【今後の重点事項】 計画に基づく取組の推進	施設管理課 施設整備課 施設建設課 クリーンセンター 埋立事業管理事務所	
		環境学習施設「さすてな京都」のオープン		・令和元年10月オープン ・10月5日オープニングイベントを実施 ・毎週土・日・祝日に学習プログラムを実施			
		東北部クリーンセンター大規模改修工事		・大規模改修工事の実施			
		東部山間埋立処分場の延命に向けた対策		・南部クリーンセンター第二工場において、高反応消石灰を使用することによる、ばいじん発生量の削減			
		クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営		・施設保全計画に基づく効率的な維持管理の実施 ・不適物搬入調査回数：144件			
10	地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大		・まち美化事務所やエコまちステーションを中心とした地域との細やかな連携 ・地域ごみ減量推進会議の活動助成（174団体）	【今後の重点事項】 計画に基づく取組の推進	ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 （エコまちステーション）	
11	第3次京都市産業廃棄物処理指導計画の推進	排出事業者や地域から信頼される処理業者の育成・指導	第3次京都市産業廃棄物処理指導計画	・排出事業者への立入指導件数：197件 ・優良な処理業者の育成に向けた情報公開の推進 ・夏休みエコバスツアー～さんばい施設見学会～参加者数：87人	【今後の重点事項】 計画に基づく取組の推進	廃棄物指導課	
12	大岩街道周辺地域の良好な環境づくり	大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施	-	・職員による監視週3回、委託による監視週4回（平日昼間2回、平日早朝1回、休日1回）	【今後の重点事項】 継続した監視、指導及び検査等の実施	環境指導課 廃棄物指導課	
		民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施		・撤去量：48,954㎡			
		岡田山周辺の土壌、地下水等の環境調査、廃棄物検査及び交通量調査の実施		・環境調査、廃棄物検査及び交通量調査の実施			
13	観光地トイレのおもてなし向上プロジェクト	国際文化観光都市・京都にふさわしいトイレ環境の整備の推進	-	・「観光トイレ制度」の認定箇所：53箇所（令和元年度末） ・公衆トイレのリニューアル箇所：23箇所※ ※洋式便器設置率100%を達成	【今後の重点事項】 ・観光地におけるトイレの充実	まち美化推進課	